



友月



心文風

松山
人
起



沖風や伊勢の風程れ海とくぬ野に
を兼氏も武の小葛飾那る甲のさとし
孝考ゆて子くを務と孝子末の妻ね
七世多々庵の號と嗣と無く風存を
浦詠一復子名もき好士也こもちそら
中裡と終つて一世多々庵林所あす

百回忘もあはれをこめてあまの石存の
考よおらうて七十員を研ねもつ積家れ
月の詠ともあてする向まはは保て二世
波部と下南枝尾吉竹様松もあまの
世これ嗣も有れ甲の徳を流る人の孝
あり守存治書正子の後ゆて海風の
名を今もあまの表はての人あまのあま



東京下谷入谷町正洞院境内

此の松の... (松浦の功) 作意
 その人... (松浦の功) 親友志を以
 ... (松浦の功) 及ぶ... (松浦の功) 行正
 ... (松浦の功) 玉兔集と銘
 ... (松浦の功)

明治辛未年仲秋

松浦の功





夢梅仙史題



秋仙居士

名曰夢梅仙史

字曰夢梅仙史

夢梅仙史

夢梅仙史

雪裏
氷嶺
松苔

橋のたもとにうらなふ

末石

橋のたもとにうらなふ

孫子

可なりとてうらなふ

其風

可なりとてうらなふ

一子

可なりとてうらなふ

宇山

五十とてうらなふ

言者

可なりとてうらなふ

仲太

可なりとてうらなふ

五板

あのおもひにうらなふ

歳子

あのおもひにうらなふ

松二

あのおもひにうらなふ

翁海

あのおもひにうらなふ

善風

あのおもひにうらなふ

探者

あのおもひにうらなふ

善城

あのおもひにうらなふ

清雅

あのおもひにうらなふ

風流

花のあはれをいへばあはれなる花の
風羽

いへばあはれなる花の
花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{ニ才} 碧海

いへばあはれなる花の
花生 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{三才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{四才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{五才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{尾注} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{六才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{尾注} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{七才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{八才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{九才} 花生

いへばあはれなる花の
花生 ^{尾注} 花生

三

二

もあち何あ流河ちる流河

かた

石中

みちあちる水一あ絶ちる水

長

山士

池の下つちまう今の流のうま

流

山草

たつちる流そのまむの流の流

大

石流

あちる水ちる水の流の流

中

石中

あちる水ちる水の流の流

長

山士

あちる水ちる水の流の流

中

石中

あちる水ちる水の流の流

長

山士

あちる水ちる水の流の流

かた

石中

あちる水ちる水の流の流

山士

あちる水ちる水の流の流

長

山士

あちる水ちる水の流の流

中

石中

あちる水ちる水の流の流

山士

あちる水ちる水の流の流

長

山士

碑面

何れも... 部々
名目... 材の
揚...

毎為 材 瓜

東京下谷... 其傍に石碑あり

葉の... 波
名目... 材
月... 鬼
... 中
... 吾

今月の夜は静かなる月夜

冬月

静かなる月夜に思ふ

遠帆

静かなる月夜に思ふ

静かな

静かなる月夜に思ふ

已笑

静かなる月夜に思ふ

赤心

静かなる月夜に思ふ

鬼月

静かなる月夜に思ふ

東風

静かなる月夜に思ふ

雨水

静かなる月夜に思ふ

更明

静かなる月夜に思ふ

笑波

静かなる月夜に思ふ

小水

静かなる月夜に思ふ

福因

静かなる月夜に思ふ

遊鯉

静かなる月夜に思ふ

覺高

静かなる月夜に思ふ

桂舟

静かなる月夜に思ふ

嵐夜

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the right side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

Handwritten cursive text on the left side of the page.

蓮る
 五月
 東色
 茶碗
 梅窓
 友村
 智作
 如心

註

松考
 泉外
 其海
 解玉
 玉博
 城塚
 古葉
 香也

註

はなはなとあはれをこころにぞける月

月夜

なほや露のぬきぬきおぼき一花

露

桐陰

後海一ひらきおぼき月と水

後海

徳水

あはれをこころにぞける月

心

友川

あはれをこころにぞける月

仙木

あはれをこころにぞける月

和川

あはれをこころにぞける月

好一

あはれをこころにぞける月

曲川

あはれをこころにぞける月

お海

あはれをこころにぞける月

善岳

あはれをこころにぞける月

中流

あはれをこころにぞける月

其彭

あはれをこころにぞける月

新尾

あはれをこころにぞける月

石翠

あはれをこころにぞける月

赤枝

Handwritten cursive characters: 和菓

Handwritten cursive characters: 飛水

Handwritten cursive characters: 苔根

Handwritten cursive characters: 眉島

Handwritten cursive characters: 西

Handwritten cursive characters: 梨抱

Handwritten cursive characters: 梨抱

Handwritten cursive characters: 植圃

Handwritten cursive characters: 寺社

Handwritten cursive characters: 生石

Handwritten cursive characters: 早山

Handwritten cursive characters: 赤心

Handwritten cursive characters: 山士

Handwritten cursive characters: 料百

Handwritten cursive script line 1

Handwritten cursive script line 2

Handwritten cursive script line 3

Handwritten cursive script line 4

Handwritten cursive script line 5

Handwritten cursive script line 6

香 海 石 芝 露 海 香

Handwritten cursive script line 1

Handwritten cursive script line 2

Handwritten cursive script line 3

Handwritten cursive script line 4

Handwritten cursive script line 5

Handwritten cursive script line 6

Handwritten cursive script line 7

Handwritten cursive script line 8

香 海 石 芝 露 海 香

改草のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 あれはよき子孫のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書

芝 洲 城 芝 洲 城 芝 洲 城

手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書
 手紙のあつた人への書

芝 洲 城 芝 洲 城 芝 洲 城

与たふらふら目ら海傍の子

あいらのそに陰ちらるる

米北のそを三筋のそを 祝をる

そのそをるまれば 中

秋ふらふら訂しゆくまのる

及 錦とせは瓶のそ海

+

味

芝

真

洲

芝

城

けり月をさしゆくあふそを

なうーあふそをさしゆく

の (あふそをさしゆく)

あふそをさしゆく

ちをさしゆく

あふそをさしゆく

ぬ

を

ぬ

ぬ

意

ぬ

+

中絶しぬるていふる

禁

田舎のうらやま

お

路のうらやま

お

よりのうらやま

お

山間のうらやま

お

水辺のうらやま

お

花のうらやま

お

月のうらやま

お

おのうらやま

お

うらやま

お

海山のうらやま

お

ちのうらやま

お

五山のうらやま

お

古のうらやま

お

禁

自來橋の序

書

海にわたりしは又さしけり目

早稲のたみの露を日々に食

らくらくと食ふべしとぞいふ

あつたはつたはつたはつた

日ごとくはつたはつたはつた

いふはつたはつたはつたはつた

あつたはつたはつたはつたはつた

四月や集りてまはりの屋

ふとあつたはつたはつたはつた

日ごとくはつたはつたはつた

月ごとくはつたはつたはつた

花のつたはつたはつたはつた

あつたはつたはつたはつたはつた

おどろくはつたはつたはつた

四月や花の集りてはつた

十一

